

地方独立行政法人さんむ医療センター  
平成 29 事業年度の業務実績に関する評価結果

平成 30 年 8 月

山 武 市

# 目 次

## \*\*\* 年度評価の考え方 \*\*\*

〈評価の基本方針〉	1
〈年度評価の方法〉	1

## \*\*\* 平成 29 事業年度の業務実績に関する評価結果 \*\*\*

1. 全体評価	
(1) 評価結果	2
(2) 全体評価に当たって考慮した事項	2
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	3
2. 大項目評価	
(1) 「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	5
① 評価結果	5
② 判断理由	5
【大項目評価に当たり考慮した事項】	5
③ 評価に当たっての意見、指摘等	5
(2) 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価	6
① 評価結果	6
② 判断理由	7
【大項目評価に当たり考慮した事項】	7
③ 評価に当たっての意見、指摘等	7
(3) 「第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画」に関する大項目評価	8
① 評価結果	8
② 判断理由	8
(4) 「第7 剰余金の使途」に関する大項目評価	8
① 評価結果	8
② 判断理由	8
(5) 「第8 料金に関する事項」に関する大項目評価	8
① 評価結果	8
② 判断理由	8
(6) 「第9 その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価	8
① 評価結果	8
② 判断理由	8
【大項目評価に当たり考慮した事項】	8
③ 評価に当たっての意見、指摘等	9
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿	10.
○平成 29 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	10.

## \*\*\* 年度評価の考え方 \*\*\*

地方独立行政法人法の改正により、本年度から法人の評価者が評価委員会から設置団体の長に見直しされ、評価委員会の関与が一部なくなりましたが、設置団体である山武市(以下「市」という。)としましては、地方独立行政法人さんむ医療センター(以下「さんむ医療センター」という。)の業務を適正に評価するためには、引き続き地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会(以下「評価委員会」という。)の専門的な知見に基づく意見と継続的かつ積極的な関与が必要と考え、評価委員会から意見をいただけるよう評価委員会条例を改正して、評価委員会の意見を聞き、平成22年4月1日に設立されたさんむ医療センターについて、法人化して8年目の平成29事業年度の業務実績に関する評価を行った。

### 〈評価の基本方針〉

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

### 〈年度評価の方法〉

当該年度計画に定めた事項ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の2つを併せて行った。

#### (1) 項目別評価の方法

項目別評価は、以下の評価委員会による、①小項目評価、②大項目評価の手順で行った。

##### ① 小項目評価

市において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、年度計画の小項目ごとの進捗状況について評価を行った。

市による評価と法人の自己評価が異なる場合には、市が評価の判断理由等を示した。また、必要に応じて特記すべき点などについてコメントを付した。

##### ② 大項目評価

市において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの進捗状況について評価を行った。

#### (2) 全体評価の方法

① 市において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行った。

② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み

(さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など)を積極的に評価した。

## \*\*\* 平成 29 事業年度の業務実績に関する評価結果 \*\*\*

### 1. 全体評価

#### (1) 評価結果

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成 22 年 4 月 1 日に地方独立行政法人として設立され 8 年目の決算を迎えました。また、平成 29 年 4 月より第 3 期（期間 3 年間）の中期目標及び中期計画の 1 年目となり、地域に根差した地方独立行政法人病院としてより一層の成長が求められています。

平成 29 事業年度の業務実績については、年度計画で掲げている以下 6 つの大項目

- ① 「第 2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」
- ② 「第 3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」
- ③ 「第 4 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画」
- ④ 「第 7 剰余金の使途」
- ⑤ 「第 8 料金に関する事項」
- ⑥ 「第 9 その他業務運営に関する重要事項」

の評価において、中期計画目標値すべての達成には至らなかったが、厳しい医療環境下で経営の安定に努力したことを認め、A評価 2 件、B評価 4 件とした。

#### (2) 全体評価に当たって考慮した事項

- ① 「第 2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、病院運営全般に関する重要な事項として平成 29 年 12 月に地域包括ケア病棟の改修・移転を実施し、病床数を 40 床に増床して開設したこと、地域包括ケア病棟移転により空いた休床病棟を平成 30 年 3 月から一般病床 12 床で開設し、全病棟を稼働させたこと、診療体制の充実と強化として、年度中に眼科常勤医 1 名、整形外科常勤医 1 名、総合診療常勤医 1 名を確保し、平成 29 年 10 月から総合診療科(院内標榜)を立ち上げたこと、山武市と連携した医師・看護学生に対する奨学金貸付制度による人材確保に努めたこと（貸付者 医学生 3 名、看護学生 30 名）、医療職の専門性及び医療技術の向上のため、研修計画に基づき積極的に研修の支援を行ったことが挙げられる。一方、看護師離職率が 9.5%へ増加し、看護師人数が目標値に達しなかったことなどから課題があるが、サービスの向上と経営の効率化等に積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応え良好な業務結果を残したことにより **B評価**とした。

- ② 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目において、評価すべき内容として、DPC並びに第3期中期計画モニタリング等業務において経営コンサルタントと連携のもと経営管理機能の強化を図りその成果が認められること、看護基準が7対1を堅持したこと、回復期リハビリテーション病棟並びに緩和ケア病棟の病床利用率の向上を図ったこと、地域包括ケア病棟の増床など地域医療機能の拡充が認められる。一方、人件費比率が高いこと、入院患者数が目標に達していないことがあるがDPC機能評価係数の向上が見られることを踏まえ、公的病院としての役割を果たしていることなどから**B評価**とした。
- ③ 特筆すべき取り組み
- ア 産婦人科医3名体制を維持するとともに、周産期の医療を推し進めていく上で必要な助産師2名確保して周産期の医療の安定を図ったこと。
  - イ 地域医療機関との連携に努めて救急医療を実施し、厳しい医療体制の中で前年度実績を上回ったこと。
  - ウ 地域がん診療病院としてグループ指定先病院と連携体制を構築するとともに地域のがん医療の向上に努めたこと。
  - エ 看護師及び医療技術職員の人材確保のため、積極的に看護実習、看護体験学習を行ったこと。
  - オ 研修計画に基づき積極的に研修の支援を実施し、効果が認められること。
  - カ 山武市及びさんむ医療センターが制定した奨学金制度を活用するとともに地域医療の実習・教育実習・職場体験の受け入れ等を積極的に実施し、医師・看護師・医療技術職員の人材確保に努めたこと。
  - キ 回復期リハビリテーション病棟並びに緩和ケア病棟の充実が認められること。「地域連携クリティカルパス（在宅緩和ケア）」対象機関として登録を行い、運用を行っていること。パスを活用し在宅緩和ケア患者のバックベッド対応を行ったこと。

### (3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ① 職員の就労環境（体制）の整備については、改善に向けて具体的な取り組みに努めること。
- ② 内科医師の確保に引き続き努めること。
- ③ 引き続きDPC導入による効果的な医療の実践、回復期リハビリテーション病棟・緩和ケア病棟及び地域包括ケア病棟の計画的な取り組みに努め、医療収益の向上に努めること。
- ④ 総合診療医を養成するため、研修体制、地域の中核を担う医療体制の充実を図ること
- ⑤ 地域の中核病院として医療・介護・保健の連携強化を推進すること。
- ⑥ 引き続き、二次救急医療輪番体制を担い地域の特性に配慮した医療に努めること。
- ⑦ 損益については前年に引き続き1億9,529万5,767円の黒字となり、経営状況は概ね順調である。

## 2. 大項目評価

- (1) 「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

① 評価結果

B評価

② 判断理由

小項目の集計結果（《 第2表 小項目評価の集計結果 》参照）では、B評価となる。また、下記の【 大項目評価に当たり考慮した事項 】で示しているように、診療体制の整備と地域医療連携の推進に努力したこと、救急医療の充実、医療水準の向上、患者サービスの一層の向上、安心して信頼できる良質な医療の提供などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

《 第1表 大項目の評価方法 》

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項等の内容を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の4段階により評価する。

- A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- D：中期目標・中期計画の達成のためには改善事項あり

【 大項目評価に当たり考慮した事項 】

※ 小項目評価がA評価3件、B評価17件、C評価1件であった。

(以下、〔項目番号：大項目-中項目-小項目〕の番号である。)

ア 診療体制の整備〔項目番号：第2-1-(1)〕

地域包括ケア病棟の改修・移転を実施し、病床数を40床に増床して開設し、全病棟を稼働させたこと、診療体制の充実と強化として、年度中に眼科常勤医1名、整形外科常勤医1名、総合診療常勤医1名を確保し、平成29年10月から総合診療科(院内標榜)を立ち上げたこと。看護師の離職率が再雇用制度の活用や人事評価制度など労働環境の改善を図り9.5%と低かったこと。

イ 医療職の専門性及び医療技術の向上〔項目番号：第2-2-(2)〕

研修計画に基づき積極的に研修の支援を行い専門的分野での資格取得を促進し、「自己啓発休業に関する規定」に基づき奨学金制度を活用し助産師2名を確保した。

ウ 地域医療連携の推進〔項目番号：第2-2-(3)〕

地域がん診療病院としてグループ指定先病院と連携体制を構築するとともに地域のがん医療の向上に努めたこと。また山武地区在宅緩和ケアネットワークに協力機関として参加し、近隣の診療所、訪問看護ステーション、

薬局、ケアマネージャー等と積極的に連携し、緩和ケア外来の患者を24時間体制で支援したこと。

エ 安全対策の徹底 [項目番号：第2-4-(1)]

医療における様々な安全対策について、関係する職員に徹底した研修を行い、その強化と実施に努めたこと。

《 第2表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数21項目に対し、B評価(年度計画をほぼ順調に実施している)が17項目であり、割合は17/21と8割以上を占めることから、B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)とした。

中項目 \ 小項目評価区分	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供	3	1	2		
2 医療水準の向上	5	1	4		
3 患者サービスの一層の向上	5		4	1	
4 安心して信頼できる良質な医療の提供	4	1	3		
5 市の医療施策推進における役割	4		4		
合計	21	3	17	1	

③ 評価に当たっての意見、指摘等

ア 医師・看護師等の人的資源を確保出来るかが課題である。内科医の充実が必要である。

イ 安心・安全な医療を地域に提供すること。

(2) 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価

① 評価結果

B評価



## ② 判断理由

小項目の集計結果（《 第3表 小項目評価の集計結果 》参照）では、B評価となる。また、下記の【 大項目評価に当たり考慮した事項 】で示しているように、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立、効率的かつ弾力的な業務運営などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

### 【 大項目評価に当たり考慮した事項 】

※ 小項目評価がA評価の項目は、次の1件であった。  
（以下、〔項目番号：大項目-中項目-小項目〕の番号である。）

ア 収入の確保と費用の節減〔項目番号：第3-2-（8）〕

DPC データの活用について専門コンサルタントの定期的なモニタリングを受け、回復リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟の病床利用率と一般病棟の効率性を上昇させたこと。後発医薬品の切替えについては、薬事委員会が中心となり積極的に切替えを行い費用の削減に努めたこと。

○ 後発医薬品の採用率  
・数量ベース 91.0%（目標値 97.7%）

### 《 第3表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数9項目に対し、B評価（年度計画をほぼ順調に実施している）が8項目であり、割合は8／9と8割以上を占めることから、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）とした。

中項目 \ 小項目評価区分	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の持続的な発展	1		1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	8	1	7		
合計	9	1	8		

## ③ 評価に当たっての意見、指摘等

ア 事務職の体制が十分に整っていない。今後の業務運営においてプロパー職員の育成が急務である。

イ 人件費比率については、目標を達成できてないが、公的病院としてどのくらい

役割を果たしたかが重要であり、人件費比率のみの評価でなく全体として病院機能評価を重視し、その高さを評価する。

ウ DPC機能評価係数の向上が見られる。

エ 今後、新人看護師教育の充実を図る必要がある。

オ 費用の節減に引き続き努めること。

(3) 「第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画」に関する大項目評価

① 評価結果

A評価

② 判断理由

財務内容の数値評価項目において改善が認められること。

(4) 「第7 剰余金の使途」に関する大項目評価

① 評価結果

A評価

② 判断理由

剰余金の使途を明確にしている。

(5) 「第8 料金に関する事項」に関する大項目評価

① 評価結果

B評価

② 判断理由

使用料及び手数料に規定に基づき適正に執行されている。

(6) 「第9 その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価

① 評価結果

B評価

② 判断理由

小項目の集計結果（《 第4表 小項目評価の集計結果 》参照）では、B評価となる。また、下記の【 大項目評価に当たり考慮した事項 】で示しているように、施設整備の推進の成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

**【 大項目評価に当たり考慮した事項 】**

※ 中・小項目評価がB評価の項目は、次の2件であった。

（以下、〔項目番号：大項目-中項目〕の番号である。）

ア 施設整備の推進〔項目番号：第9-1〕

介護老人保健施設及び病児保育施設（山武市と協力のもと地域の子育て支援策として設置）を検討中

イ 病院機能の拡充〔項目番号：第9-2〕

地域包括ケア病棟の病床数を40床に増床・移転し、空いた休床病棟を一般病床12床に転換し、全病棟を稼働したこと。床平成28年度開設に向け準備を進めていること。病院の建て替え施設整備計画に関わる基本構想を作成したこと。

《 第4表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数2項目に対し、病院機能の拡充がB評価（年度計画をほぼ順調に実施している）、施設整備の推進がC評価であり、2項目は併せて進行されており、総合的に評価しB評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）とした。

中項目 \ 小項目評価区分	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 施設整備の推進	1			1	
2 病院機能の拡充	1		1		
合計	2		1	1	

③ 評価に当たっての意見、指摘等

ア 今後、事業推進に必要な準備体制を整え、医療介護総合確保推進法の主旨である他の医療機関との機能連携に努力すること。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

区分	氏名	役職等
委員長	村上信乃	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 名誉院長
副委員長	長隆	監査法人 長隆事務所 代表社員
委員	伊藤よしみ	山武郡市医師会 会長
委員	井上智子	国立看護大学校 校長
委員	加藤誠	成田赤十字病院 名誉院長
委員	亀田信介	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 院長
委員	松原久裕	千葉大学 大学院医学研究院 教授 医学部附属病院 副病院長
委員	光本篤史	城西国際大学 副学長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成30年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日程	審議議題
<p>【第1回】</p> <p>平成30年7月27日(金)</p> <p>山武市役所第5会議室</p>	<p>(1) 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成29事業年度業務実績の評価及び財務諸表等への意見について</p> <p>(2) 新公立病院改革プランの進捗について</p>